



岡崎市立愛宕小学校 校長通信 令和5年6月20日（火）



大好きいっぱい チーム愛宕



「体験的な学び」「本物にふれる」といった学習は、魅力的で教育効果を大いに向上させます。最近の愛宕小学校では、子供たちが意欲的になる楽しい学びや体験活動、校外学習を計画立案しています。そのため、専門性の高い講師を特別に招聘して授業をしていただくことも多くあります。4月から振り返ってみますと、化石(理科)、メダカ(理科)、愛宕の桜の木(総合的な学習)、リズムダンス(体育)、三大栄養素(食育)の授業において、特別講師を招いて授業を行って来ました。こうした機会は本当にありがたく、私自身も興味をもって受けることができました。その道のプロを目の前に、未知の世界のことを知るワクワク感が掻き立てられます。特に子供たちは、義務教育9年間で探求心や好奇心を旺盛にし、「知らないことを知りたい」「もっと深く知りたい」という思いがもてる人になってほしいと思います。それが「大好き」につながり、将来的に自分の得意分野へと歩みを進めていけると思います。「冷凍マンモスって化石なの?」「メダカって漢字ではどう書くの?」まだまだ知りたいことがいっぱい出てきます。



6月1日(木)、4年生が中央クリーンセンターへ校外学習に行きました。7日(水)には3, 4年生、16日(金)には5, 6年生が徒歩で岡崎城・大河ドラマ館へ、1, 2年生はバスに乗って東公園へ行きました。どの学年も、おかざきっ子展作品づくりに向け、岡崎公園・大河ドラマ館・



東公園へ行き、作品となる素材を実際の目で見て、よく観察してることが目的です。やはり、実物を見て、五感を使って

感じることで、自分の作品のイメージを広げることができます。また、校外学習では、公共マナーについても学ぶことができます。1, 2年生が路線バスを利用したことも勉強になったことでしょう。私は、数年前まではバスに乗るたびに運賃表を気にして、小銭を用意していましたが、今は…。時代の流れにしっかりと乗っていきたいです。

